

第34回 セミナーのご案内

テーマ：長く続いてきたグループ時代の変化を乗り越えてー

2026年3月7日（土）に大阪ボランティア協会で、第34回「セルフヘルプ・グループ・セミナー」を開催します（詳細は後述）。今回は「長く続いてきたグループ時代の変化を乗り越えてー」というテーマで開催します（手前味噌ですが、原則年1回の開催なので本セミナーも30年以上続いていることになります）。

①「認知症の人と家族の会」、②「成人発達障害者当事者自助グループ UnBalance（アンバランス）」、③薬物依存からの回復を目指す「N A（エヌエー）関西」、④吃音（きつおん）のある人の「言友会（げんゆうかい）」といった、長い間活動を続けてきた4つのグループの方にお話しいただきます。

長いあいだ活動するなかでグループも世の中もどんどん変わっていきます。たとえばメンバーの増減、例会場所や資金の確保、人間関係のもつれ、グループの抱える問題に対する社会の理解、インターネットの普及、SNS への対応など挙げればきりがありません（巻頭言にあったように当センターも、かつて活動の命綱と思っていた電話相談を終了せざるをえなくなりました）。

今回お話しいただくグループの方々は、これらの課題に取り組みながら現在に至っています。ただ、そうした変化のなかでも、セルフヘルプ・グループとして大事にしてきたもの、変わらないものはあります。

当日お話しいただく内容は**語り手の方々に自由に設定**していただきますが、自身の抱える疾病や障害とのかかわり（体験談）、グループ運営上の工夫、後継者問題への取組、デジタル媒体への対応など、いろんな切り口からのお話しになると思っています。もっとも時間的に限られていますので、その「ほんの一部」ということにはなるでしょうが。

お話の後、トークセッションを設け、報告者や出席者のあいだで質疑応答や交流も企画しています。セルフヘルプ・グループに関心のある方でしたら、どなたでも参加できますので、ぜひご参加ください。



